



別府市消防団報『暖』

5号

ごあいさつ



別府市消防団長
藤内 英伸



別府市消防長
本田 敏彦

4月に消防団長を拝命いたしました藤内でございます。

団員の皆様には、様々な職業に就きながら、火災をはじめとする各種災害に身を挺して郷土を守る、崇高な任務を担っていただき感謝に堪えません。

昨年は各地で自然災害等が多発し、県内においても耶馬溪町での土砂災害で尊い命が失われました。本市においても大規模な災害がいつ起こりうるかわかりません。どのような災害にも立ち向かえるよう、訓練を通じて様々な知識や技術を身につけ、各種災害に備えて頂きたいと思っております。

4月の異動により、消防長を拝命いたしました本田でございます。

この度、別府市消防団報「暖」5号の発刊にあたり、ごあいさつ申し上げます。

団長をはじめ団員の皆様には、「市民の生命・身体・財産を守る」という尊い郷土愛の精神で、日頃の消火活動のみならず、昼夜を問わず災害対応を果敢に行っていただき深く感謝申し上げます。

今後とも消防団・消防本部がさらに連携を深め、より円滑な消防活動ができるようご協力をお願い申し上げます。

《《消防団幹部視察研修》》 In 宮崎県日南市



*平成30年4月22日(日)～23日(月)に
団長以下25名・職員随行1名の計26名で、宮崎県日南市消防団及び日南市消防本部を視察させていただきました。

日南市は消防団、消防本部の活動DVDを作成しており、消防団については、新人訓練、出初式、ラッパ隊、救急隊との合同訓練等の内容であり、特に救急隊と消防団との救急訓練の内容についてはAEDの取扱いから傷病者をタンカーに収容する方法、さらに傷病者の飛散付着を防ぐための手袋脱着方法等を現場さながらの内容でありました。

別府市においては、女性団員はAED等の訓練を行なっていますが、今後は男性団員においても大災害等の対応ができるよう救急隊と消防団の合同訓練を行なっていくかなければならないと感じたところです。

なお、南海トラフ津波の対応については、沿岸部地域を主とした津波訓練を年1回行なっているとのことでした。今回お世話になりました日南市消防団並びに消防本部の担当していただいた職・団員の皆様に深く感謝申し上げます。

★★★第30回大分県消防操法大会に第9分団が出場しました!★★★

平成30年8月19日(日)、大分県消防学校において第30回大分県消防操法大会が開催され、別府市からは第9分団が小型ポンプの部に出場しました。

県大会の出場が決まり、第9分団1部及び2部から出場選手を選抜し自主的に勉強会や部分訓練を行ないました。5月からは消防職員の指導を受けながら週2回の本格的な実践訓練を重ね、大会が迫るにつれ訓練回数を増やし大会に臨みました。大会当日は猛暑の中、選手はおおいに健闘し、入賞を果しました。この大会の出場にあたり選手のみならず、第9分団員全員で取組んだ大会でもありました。

また、平成31年別府市消防出初式において来場者へ小型ポンプ操法をご披露しました。この経験は、消防団活動において第9分団の団結力をさらに強められたと思います。選手の皆さんそして、第9分団の皆さんお疲れさまでした。



団幹部紹介

団本部

団長 藤内 英伸
副団長 関 正勝
本部分団長 中嶋伸一郎
本部分団長 後藤 一彦
本部分団長 佐藤 隆博

分団長

女性分団長 原田かほる
第1分団長 小野 征治
第2分団長 月足 原之
第3分団長 浦野 洋史
第4分団長 堀 正幸
第5分団長 岩尾 一裕
第6分団長 彌田 万平
第7分団長 平松 幹雄
第8分団長 脇 博之
第9分団長 加藤 修二
第10分団長 右田 順次
第11分団長 梶原 英敏
第12分団長 永井 幸己
第13分団長 荒金日出夫
第14分団長 齋藤 孝一
第15分団長 後藤 毅
第16分団長 久保 晴彦
第17分団長 後藤 利夫

平成30年度 新入団員紹介

○第2分団 村上 光哉
○第4分団 岩坂 佑生
○第8分団1部 片岡 友晴
○第8分団2部 森 敦史
○第9分団1部 日名子 愛
○第10分団1部 岩尾 祐二
○第10分団2部 松田 正一
○第11分団 安波 拓哉
北里 千恵
○第12分団 堀 勝年
○第13分団 山田 卓也
○第14分団 三浦 義明
○第16分団 伊南 公弘
久保 祐道
久保 信子
久保 弘美
廣田 美由紀
○第17分団 田吹 弘太

叙勲受賞者

平成30年春 端宝双光章
元消防団長 片岡典之様

平成30年秋 端宝单光章
元9分団長 安部源六様

受賞おめでとうございます。



第19回大分県消防団員意見発表会 最優秀賞を受賞



「消防団と私」

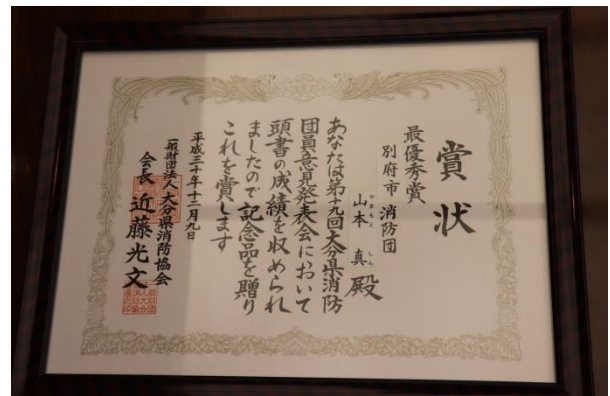
別府市消防団 第7分団 班長 山本 真

私が消防団に入団したのは、今から10年前になります。消防団員の友人に誘われたことがきっかけでした。入団当初は団員としての自覚が余りありませんでしたが、その後、私の消防団員としての意識を変える体験がありました。一ヶ月ぐらいたった頃初めて火災現場に出動した時でした。目の前で燃えさかる炎を見て驚いている自分の周りを先輩方が走り回って消火活動をしている姿がありました。そこには何も出来ない自分がいました。それから二～三ヶ月たった頃、分団での自主訓練や火災現場を通して先輩団員への憧れをもつようになりました。人員報告でのハキハキとした受け答え、自主訓練でのキビキビとした動き、ホース延長訓練でのスムーズでスピーディーな動きや連携に当時の私はついていだけで精一杯だったのを憶えています。同時に、常日頃から繰り返し訓練を行っているからこそ、実際の火災現場で迅速な行動にうつれるのだなと思い、先輩たちと同じような消防団員になりたいと思うようになりました。

また、訓練以外での体験も私の消防団員としての自覚を向上させました。火災予防週間には、夜警で広報活動を回るなど火災を起こさない予防活動も、積極的に行っている事を知りました。こうした幅広い活動が地域との関わりを深め、地域密着の消防団という形になっているのだと感じました。

初めて参加した出初式の時には、別府市内全ての分団が集まっており、こんなにも沢山の方たちが地元地域の為に積極的に消防活動に参加しているという事に感動しました。その後、他の分団との合同訓練の際に、河川敷や浄化センターで行われた訓練を通して技術を高めあっていくことができました。さらに意見交換の場面では、コミュニケーションを取り合いながら互いの意見を交換し今後の活動の改善点を話し合うことができました。春の温泉まつりで行われる扇山火祭りの警備では、あらかじめ防火対策をしている外周での作業でしたが、実際に炎が近づいてくると高さが5メートルにも10メートルにもなり、改めて炎の怖さを感じました。大分・熊本の震災の時には、避難所に出向き避難している方に「余震の事で不安もあると思いますが、私たちも巡回活動をしていくので一緒に頑張りましょう。」と声掛けをさせて頂きました。その時に、避難している方から「自分が住んでいる地域の人が、消防団に入っているとすごく心強い、ありがとう。」と言われ私自身が励まされ消防団活動の活力になりました。

厳しい訓練、急な呼び出し等ありますが、年一回の親睦旅行や親睦会での団員の先輩や後輩との繋がり、また訓練や火災現場等での活動を通し絆が生まれ消防活動に取り組む活力にもなっています。消防団員になって十年、まだまだ一人前とは言えませんが、これからも一生懸命活動に取り組み、これまでの体験を通し、憧れた先輩方に近づけるように、またこれから新しく入団してくる団員に憧れ・目標となる存在になれるよう防災訓練、地域防災予防活動に取り組んでいきます。近年は若者の防災離れが問題になっています。団員の減少を抑えるため色々な方に興味を持って頂けるような活動を行っていきたいと思います。





第24回全国女性消防団員活性化滋賀大会に参加して



平成30年11月9日(金)第24回「全国女性消防団員活性化滋賀大会」が滋賀県立体育館で開催され、別府市消防団から女性消防団員の上杉嘉恵団員が参加しました。

この大会は、全国の女性消防団員が一堂に集い、日頃の活動や成果を紹介するもので、意見交換を通じ連携を深めることにより、女性消防団員の活動をより一層活性化させることを目的に開催されます。

今回は、「母なる湖、琵琶湖へようこそ 近江の国から発信！ ～今こそ一致団結女性消防団！～」を大会テーマに全国女性消防団員が参加して盛大に開催されました。

午前中は、女性消防団員による活動事例発表及び防災啓発劇が行われ、午後からは活動報告に続き、滋賀県出身で世界ボクシング評議会(WBC)第29代バンタム級王者の山中慎介さんの記念講演が行われました。

今回の女性消防団員活性化大会で得た内容は、今後の活動に活かされるものと思います。



第8分団2部格納庫が新しくなりました

別府市消防団第8分団は亀川地区などを管轄としています。これまでの格納庫は、昭和50年に建設され築42年を経過し老朽化し今回、亀川地区都市再生整備計画事業の一環として移転・新築いたしました。

平成30年3月17日に完成お披露目会が催され、長野市長をはじめとした多くの来賓の方からお祝いのお言葉をいただきました。



災害に強い鉄骨造りの構造

1階～ポンプ車の車庫及び倉庫

2階～会議室

- 延べ床面積 76.14㎡
- 事業費 28,674円(千円)



消防団員募集中！ あなたの力が重要です！

消防団とは、地域防災の要として「地域や家族を守りたい」そんな熱い思いで活動続ける団体です。
【問い合わせ・申し込み先】



随時募集中！



別府市消防団各分団長または
別府市消防本部 庶務課

☎代表 25-1122 まで！